

競技注意事項

1 競技規則について

2023年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項による。

2 招集について

- ①メインスタンド正面出入口前に招集所を設置する。トラック競技に出場する競技者は招集開始時刻に集合すること。
- ②走高跳・走幅跳は、現地招集とする。
- ③招集開始及び完了時刻は競技日程に記載する。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ⑤招集完了5分前までに招集所で待機し、最終点呼を受けること。その際アスリートビブス（ナンバーカード）、競技用靴等の点検を受けること。
- ⑥招集は、本人が招集所において受けること。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を得ること。この場合代理人を認める。
- ⑦リレーに出場する競技者で、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を得ること。

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ①アスリートビブス（ナンバーカード）は胸と背に1枚ずつ確実につけること。
女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように4ヶ所で確実に留めること。
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- ②トラック種目では、腰ナンバーを右腰後方につけること。
腰ナンバーは招集所にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後はフィニッシュライン奥の回収箱に返却すること。
- ③ランニングシャツの形状により、裾を外に出して出場する場合は、必ず腰ナンバーが見えるようにすること。

4 競技場で使用する競技用靴について

- ①スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。ピンの形状は全天候舗装の競技場で使用できる物とし、土のグラウンド用のピンを使用することは禁止する。
- ②靴底の厚さは以下のとおりとする。（このルールは2024年10月31日まで適用）

800m未満のトラック種目	20mm以内
800m以上のトラック種目	25mm以内
三段跳	25mm以内
三段跳以外のフィールド種目	20mm以内

- ③靴底の厚さの検定は必ず実施するものではないが、招集所審判長およびトラック・フィールド各審判長の判断により、検定を実施する場合がある。

5 棄権について

出場種目を棄権する場合、本大会においては特に申し出なくとも良い。
招集完了時刻に競技者が競技会場に来ておらず、同一時刻に他種目に出場する旨の連絡もない場合は、棄権したものを見なす。

6 練習について

- ①練習会場は野球場（メイン球場ではなく、サブ球場）を使用し、安全に留意して練習を行うこと。野球場は午前8時から使用可とする。
- ②野球場でのスパイクシューズの使用は禁止する。
- ③陸上競技場内での練習は、時間と場所を指定して開放する。競技の妨げとならないよう、また安全に十分留意して使用すること。
- ④陸上競技場の芝生フィールド内は施設整備の都合上、立入り禁止とする。
- ⑤練習に際しては競技役員の指示に従って安全に練習すること。
- ⑥選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、公園内ではジョギング以外の練習は禁止する。（メディシンボール投げやハードルを用いた練習等も禁止。）

7 競技者の入退場について

- ①招集後のスタジアム内への入場は、100mスタート地点付近のみとする。
競技終了後は競技の妨げとならないように注意し、最寄りのゲートから退場する。
- ②トラック競技に出場する競技者は、フィニッシュ後はバックストレート側を通過してスタート地点に戻る。フィニッシュ後にメインスタンド前を通らないこと。
- ③フィールド競技者も他の競技の妨げとならないよう、係員の指示に従うこと。

8 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順等について

- ①トラック競技の予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、速報サイト等に示すので、審判員の指示に従うこと。
- ②リレー競走に出場するチームはリレーオーダー用紙を作成し、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までにTICに提出する。リレーオーダー用紙はTICで配布する。
また、事前に栃木陸協 Web サイトにもリレーオーダー用紙を掲載する。
- ③リレー競技に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加しなければならない。ただし、同一のチームと判別可能であれば、形状が異なるユニフォームを着用しても良い。

9 跳躍競技（高さ・踏切板の距離）について

（※審判長の判断で、変更することもある。）

種目		練習	試技
走高跳	男子	1.65 1.90	1.70～1.75～1.80～1.85～1.95～2.00～2.05～2.08・以後 3cm
	女子	1.35	

- ①上記以後の高さについては、跳躍審判長の指示による。
- ②雨天の際は協議の上、高さを変更することもある。

10 競技について

- ①トラック競技はタイムレース決勝のみ実施する。
- ②走幅跳は3回の試技までの実施とする。
- ③トラック競技は、不正スタート1回で失格とする。
- ⑤リレーについて
ア) リレーには各団体および各学校から複数チーム出場することができる。
イ) リレーチームの競技者が何らかの理由で欠場し、リレーチームの編成ができない場合、当該団体・学校の競技者で他の種目に出場している選手をリレーメンバーとして起用することは認める。
- ⑥各競技の結果はWeb上の速報サイトに掲載する。

⑦各競技の開始時刻や招集時刻については、プログラムに記載されている競技日程が正式なものである。栃木陸協の Web 速報サイトに記載する競技開始時刻や招集開始時刻は、コンピュータシステムの不具合により、誤った表記をする場合がある。競技日程等については、必ずプログラムに記載されている事項を確認すること。

⑩抗議については、TR 8 による。

⑪助力については、TR 6 による。

11 その他

①T I C (Technical Information Center) をメインスタンド1階正面出入口前に設置する。

T I Cでは、参加団体受付、オーダー用紙の取扱い、競技に関する抗議の受付、プログラム訂正の受付、遺失物保管などの業務を行う。

②競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。

③競技場内でのテント設置は9レーン外側の芝生地帯のみとし、芝生スタンドでのテント設置は不可とする。また、競技場外の公園敷地にテントを設置することは一切禁止する。

④雷発生時などの非常時には、競技役員の指示にて屋内に避難する。

⑤メインスタンド内のトイレを使用する際は、スパイクシューズ脱いで入場すること。

⑥更衣室・シャワー室は、男女ともメインスタンド内の更衣室を使用すること。

12 災害時の避難場所

会場責任者の判断により避難の放送が入るので、避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動すること。雷発生時などは、競技役員の指示にて屋内に避難する。

13 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項

①新型コロナウイルス感染拡大状況により、参加申込み完了後に競技会を中止とする場合もある。日本政府または各都道府県による緊急事態宣言が発令した場合などは、県外在住の参加者に対して参加を断る場合もある。その際は栃木陸協 Web サイト等で通知する。また、競技中に発雷等で天候が悪化した場合は、その時点で競技会を中止する場合もある。

②有観客での競技会開催とするが、新型コロナウイルス感染拡大状況により、無観客に変更する場合がある。その際は栃木陸協 Web サイト等で通知する。

③競技会直前に発熱等の症状が出た者は、参加を控えること。

④競技会開催中に体調の異変を感じた場合は、速やかに代表者や顧問教諭に連絡し、主催者の指示を受けること。

⑤マスクの着用は個人の判断とする。その他各チーム等の方針に則る。ただし、発声を伴う応援（集団応援も含む）の際はできる限りマスクを着用する。

⑥運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。

⑦ゴミは自己責任で持ち帰る。

⑧その他、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対応については、栃木陸協 Web サイト等で周知する。